

花の日礼拝

5月27日（金）花の日礼拝をおささげしました。

生徒たちはそれぞれお花を持って登校し、そのお花をチャペルに飾って、神様の恵みに感謝する礼拝を捧げました。礼拝では讃美歌2編の26番「小さなかごに」を歌い、ヨハネによる福音書6章1節から15節の御言葉が朗読され、「少年が差し出した5つのパンと2匹の魚を、イエス様は感謝の祈りを唱えて分けると5000人が満腹した。少年が勇気をもって差し出した精一杯のものを神様が大きく用いてくださった。私たちも困っている友人に『自分だけが声をかけても意味がないかな』と思っても、自分のできる精一杯のことをしてみると、神様は大きく用いてくださる」とのメッセージを聞きました。

集められたお花は、中学2年生高校1年生がフラワーアレンジメントを製作し、放課後、警察署や幼稚園、保育園、浦上駅、長崎北郵便局や藤見町郵便局や学校の周りの病院にお届けし、神様の恵みを分かち合いました。

